



福山市立大成館中学校
大中だより

2019(平成31)年
1月7日
No. 8
校長 小寺和宏

2018(平成30)年度 3学期始業式 式辞

「3学期」

今日から3学期がスタートします。
新年を迎えて、それぞれに新たな夢・目標・希望に燃えていることだと思います。
その熱い思いを大切にしてください。
そのためには、2学期の終業式でも話をした「辛抱(しんぼう)」することが大切です。
「頑張ろうと一念発起は誰でもする。努力までならみんなする。」で終わらないように辛抱することを大切にしてください。

この冬休み、校長先生は高速道路を利用して山口県に行きました。
山口県からの帰り、休憩と夕食をとるためサービスエリアに寄りました。
そのサービスエリアのフードコートは食券を買う方式のお店で、入り口に2台の食券販売機が設置されており、少々混んでいました。

私は食券を買うため向かって左側の食券販売機に並びました。私の右側には野球の遠征からの帰りと思われる中学生くらいの男子二人、その前に老夫婦のお二人が順番を待っていました。

老夫婦のお二人は急がれているようで、食券を買われるとおつりを受け取るのを忘れて、急いでカウンターの方に向かわれました。

すると老夫婦の後ろにいた野球少年二人が、「あっ、やばい！」と言って食券販売機から出てきたおつりを持って、その老夫婦を追いかけ、「すいません。さっき食券を買われましたよね。おつりを忘れていますよ。」と言って老夫婦におつりを渡していました。老夫婦が御礼を言うと、「よかったです。」と言って、また列の最後尾に、何もなかったように雑談をしながら食券を買うために並んでいました。

この野球少年二人、あたり前と言えはあたり前のことをしたまでですが、この行動が本当に自然でさわやかで、思いやりに満ちていて素晴らしいと感じました。

大成館中学校でも、あいさつや掃除など、自然でさわやかで、思いやりに満ちた行動ができる生徒が増えています。

更に自然でさわやかで、思いやりに満ちた学校にするためには、日頃から「あたり前のことがあたり前にできる」よう心掛けてみてください。

今日からスタートする3学期は1年のまとめの学期であると同時に、別れの学期でもありません。

特に3年生は、1月から私立高校等の入試が始まります。

闘うべき相手は自分自身の心の中にあります。仲間・クラス・学年が力を合わせて自分自身の将来の夢や目標をつかみとってください。

そして、あと2ヶ月で卒業式です。

感動の卒業式を創り上げましょう。